

英語で取材に挑戦



外国語学部 英語英文学科 3年 尾口 愛瑛

(ニューヨークから訪れていた家族)



最近、日本には外国人観光客が増えている。日本政府観光局（JNTO）によると、2015年の訪日外国人は1974万人にのぼり、前年から47・1%増加し過去最高を更新したようだ。また訪日外国人の約六割はリピーター客であり、そのうちのほとんどは一週間程度の短期滞在で観光を楽しんでいる。

なぜ今、日本へ訪れる外国人が急増しているのか、また日本のどんなところに魅力を感じたのかを調査するべく、私達英語英文学科は自らの英語力、コミュニケーション力を生かし、外国人へ直接インタビューをして、外国人に人気のスポットやおすすめの食べ物などを調べた。

またインタビューを通して、我々日本人でも知らなかったことや新しい日本のかたちを自身で体験することで、自国理解、そして異文化理解にもつながるのではないかと、調査を決定した。

実際に観光地に出ると驚くほど多くの外国人が日本を楽しんでいた。私たちが調査をしはじめた場所は、観光地としても名高い渋谷と浅草だ。土曜日だったこともあり、どちらも朝早くから沢山の人が賑わっていて、そして皆快くインタビューに応じてくれた。インタビューは全て英語で行い、また内容は、出身国、なぜ日本に来たのか、日本のおすすめスポットや自国の良いところ、好きな日本食、日本の便利、不便な点等、一人五分程度を目安に、各地で30名ほどずつ聞くことができた。またインタビューに





協力してくれた方々には日本らしいお菓子をプレゼントし、「おもてなし文化」をアピールした。声をかけてみるとさまざまな国から日本へ来ていることも分かった。中国、韓国、台湾、タイ、シンガポール、ロシアなど近隣の国からの観光客はもちろん、オーストラリア、アメリカ、メキシコ、カナダ、イラン、イギリス、フランス、スイス、イタリア等、国や年齢層もバラバラで、一人で来ている方から十数人で行動している方、子連れの方にも声をかけ調査の対象にした。またどの国も英語が母国語または英語が流暢に話せる国がほとんどで、インタビューにはほとんど支障が出なかったことから、世界のグローバル化を強く感じた。



インタビューの結果は、まず日本に来た理由は、ほとんどが短期滞在の観光目的であることが分かった（自動車メーカーの研修等、仕事で日本へ訪れる外国人も一部いた）。日本のおススメスポットはやはり都内近辺がほとんどで、新宿、浅草、銀座、渋谷が多く挙がった印象だ。そのほかにも東京ディズニーリゾートは外国人にも多く人気を集め、遠方だと北海道や京都、さらにスキーのために長野へ行くという冬ならではの回答も聞くことが出来た。

また日本の良いところで圧倒的に多かったのは「地下鉄の便利さ」であった。やはり観光には移動手段として電車を利用する方が多く、本



数の多さや多様なアクセスがあることから、外国人にも認められる日本の素晴らしいシステムであることが分かった。同時に、駅の看板や駅名には日本語がメインで書かれているため読みにくく、また路線の複雑さから電車が難しいという声もあった。そのほかに良いところとして自動販売機が便利、町全体が綺麗という意見も多かった。そして日本食は外国人に絶大な支持を集めていて、寿司やラーメンといった定番から、もんじゃ焼きや焼き鳥、さらには日本でおススメのスイーツを紹介してくれた外国人もいた。日本の誇る食文化が外国人にも非常に人気なのは嬉しいことだ。